

Contents

- 特集?ごみ減量から生活を見直そう? 2~6P
- 消防本部通信指令統合 生涯学習栄誉市民などを表彰 7P
- 長浜駅西駐車場閉鎖します 8P
- 広告募集・市民公募債募集 市営住宅入居者募集 9P
- ほつとにゆーす 家族のふれあいに-キャラクター発案- 10P
- まちの外国人さん、ぶらりわがまち 11P
- 国民健康保険、国民年金など 12P
- 子育て関連のお知らせ 13P
- 人権ってなあに、消費生活相談 14P
- お元気ですか(におい対策) 15P
- 文スポチャンネル(サンパレス講座) 16P
- インフォメーション 17~19P
- 裏表紙 湖北オーケストラ~長浜音楽祭~ 20P

今月の表紙

ワンピースを作るのは、崎野香織さん(右・祇園町)。古くなった和服の生地から愛絵ちゃん(左・小学2年生)のワンピースを作っているところを撮影させていただきました。

崎野さんは、不用になった服や小物などを、洋服やかばん、手帳カバー、生活用品などに作りかえられていて、愛絵ちゃんも、おばあちゃんに作ってもらった小さい頃の服を、大好きなくまのぬいぐるみ(表紙写真)に着せているそうです。

使わなくなったものでも、工夫しだいで再利用できるものです。使っていたものだからこそ愛着がわき、気持ちがこめられた手づくりのものは、すばらしい宝物になるかもしれません。

(関連記事：特集2~6ページ)

ごみ減量から生活を見直そう

ごみ減量への関心が高まっていますが、家庭から出されるごみの量は、全国的に高水準で横ばいが続いていて、滋賀県や湖北広域管内は、全国水準よりは低いものの、長浜市では10年前に比べると約1.4倍に増えています。ごみが多いと地球環境への影響だけでなく、処分費用などにもたくさんのお金が掛かると、財政面からもごみの減量化を進める必要があります。ごみ減量には、これまでから様々な取り組みが行われていますが、最近では、全国の自治体で指定ごみ袋を有料化することや、量販店での買い物袋持参に特典を与えるなど、経済的な面から、減量を図る動きがあります。今回はごみ減量の視点で、緑さん一家に話し合っていました。



捨てるようとしているのはごみですか?

あなたが捨てるようとしている空きびんは本当にごみですか? リサイクルできる資源ごみであるのはもちろんですが、資源ごみもその収集や分別、再利用する過程で、経費も環境への負荷もかかり、ベストではありません。捨てるつもりでの空きびんも、工夫すれば、コーヒー豆を詰め替えて使えたり、おしゃれな小物入れになったりするものです。ごみにする前に、もう一仕事してもらいませんか。

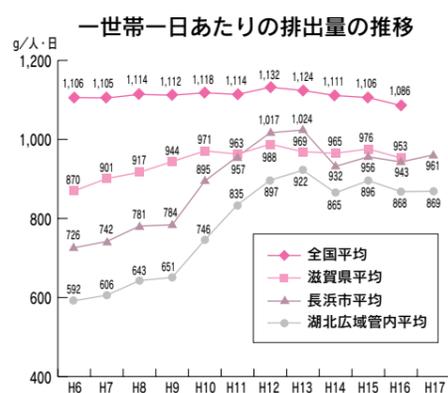
ごみ処理の現状

先日、社会学でクリスタルプラザを見学したんだけど、ごみがたくさんあったよ。私たちの家庭から捨てるごみはわずかでも、集まるとかなりの量なんじゃないかな。もともとは資源だと思ってもったいないね。でも、ごみって、実際どれぐらい捨てられているんだろう。

日本全体の一般ごみは平成16年度で年間約5,059万トンが排出されていて、これは東京ドーム136杯分にもなるらしいよ。長浜市の場合も約3万トンが排出されていて、10年前に比べると1.4倍に増えているんだ。(グラフ1)

ここ10年の間にだいぶ増えてたのね。

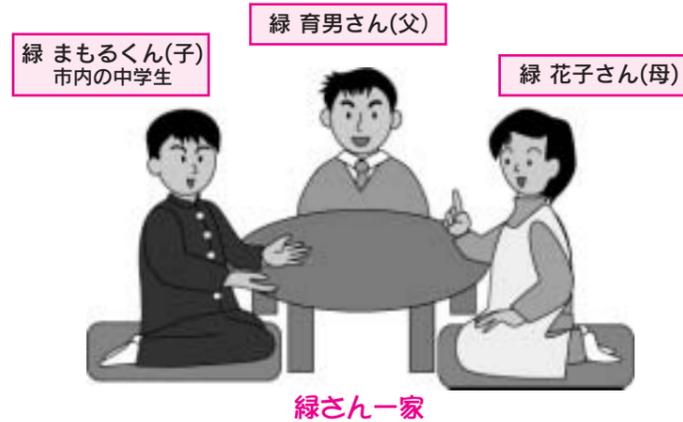
可燃ごみは古紙回収を始めた平成14年に減少したけど、それ以降はほとんど変わっていないね。また、一人一日あたりの排出量(グラフ2)も、長浜市では10年前と比べ約3割増えている、これも増加傾向にあるんだよ。



最近、ごみ総量はほぼ横ばいですが、みなさんのご協力で可燃ごみを資源ごみとして収集できています。

環境から考えるごみ減量

そもそも、なぜごみは減らさないといけないんだろ? まずは環境のためでしょうね。ごみになるものの多くは石油や鉱物などの地球資



緑さん一家